

平成 27 年 3 月 27 日

平成 26 年度学校保健統計調査（確定値）の公表について

このたび、平成26年度学校保健統計調査の調査結果（確定値）を取りまとめたので、公表します。

1．調査の概要

- (1) 調査対象：国立，公立，私立の幼稚園，小学校，中学校，中等教育学校，高等学校の満5歳から17歳までの児童等の一部（抽出調査）。
抽出率 発育状態：全幼児，児童及び生徒の 5.0%（695,600 人）
健康状態：全幼児，児童及び生徒の 23.8%（3,337,494 人）
- (2) 調査事項：児童等の発育状態（身長，体重及び座高）及び健康状態（疾病・異常の有無）
- (3) 調査時期：学校保健安全法による健康診断の結果に基づき，平成 26 年 4 月 1 日から 6 月 30 日の間に実施。

2．調査結果のポイント

【発育状態調査】

- (1) 身長の平均値の推移は，平成 6 年から 13 年度あたりをピークに，その後横ばい傾向である。
- (2) 体重の平均値の推移は，平成 10 年から 18 年度あたりをピークに，その後減少傾向がうかがえる。
- (3) 肥満傾向児の出現率の推移は，平成 18 年度以降減少傾向にあったが，23 年度以降はほぼ横ばいである。

【健康状態調査】

- (1) むし歯に関しては，ピーク時（昭和 40～50 年代）より減少傾向が続いている。
- (2) アトピー性皮膚炎に関しては，5 歳で過去最低である。
- (3) 裸眼視力が 1.0 未満の者は増加傾向にある。

<担当> 生涯学習政策局政策課調査統計企画室専門調査係
電話：03-5253-4111（代表）
（内線：3240，2262）

平成26年度学校保健統計調査 調査結果のポイント

1. 身長（平均値）

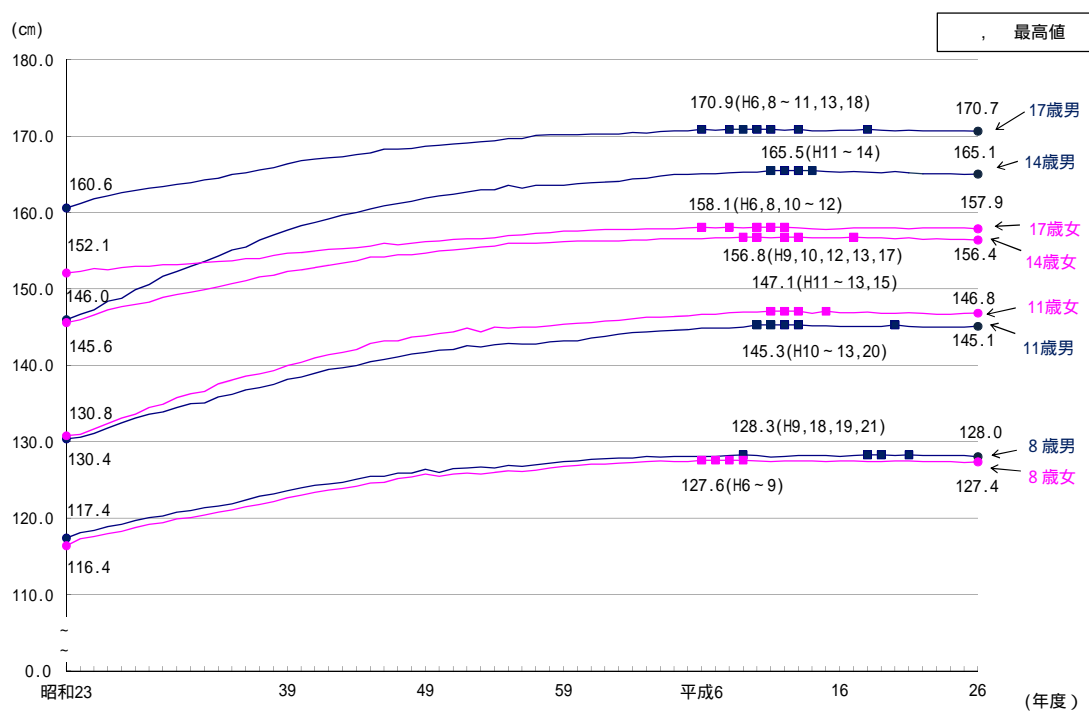
区 分	男 子			女 子		
	平成26年度	平成25年度	前年度差	平成26年度	平成25年度	前年度差
	A	B	A - B	A	B	A - B
5歳（幼稚園）	110.3	110.4	0.1	109.5	109.6	0.1
6歳（小学校1年生）	116.5	116.6	0.1	115.5	115.6	0.1
7歳（小学校2年生）	122.4	122.4	0.0	121.5	121.6	0.1
8歳（小学校3年生）	128.0	128.2	0.2	127.4	127.3	0.1
9歳（小学校4年生）	133.6	133.6	0.0	133.4	133.6	0.2
10歳（小学校5年生）	138.9	139.0	0.1	140.1	140.1	0.0
11歳（小学校6年生）	145.1	145.0	0.1	146.8	146.8	0.0
12歳（中学校1年生）	152.5	152.3	0.2	151.8	151.8	0.0
13歳（中学校2年生）	159.7	159.5	0.2	154.8	154.8	0.0
14歳（中学校3年生）	165.1	165.0	0.1	156.4	156.5	0.1
15歳（高校1年生）	168.3	168.3	0.0	157.0	157.0	0.0
16歳（高校2年生）	169.8	169.9	0.1	157.6	157.6	0.0
17歳（高校3年生）	170.7	170.7	0.0	157.9	158.0	0.1

注1：年齢は、4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。

注2：は減少していることを表す。以下の各表において同じ。

身長の平均値の推移

平成6年度～13年度あたりをピークに、その後は横ばい傾向である。



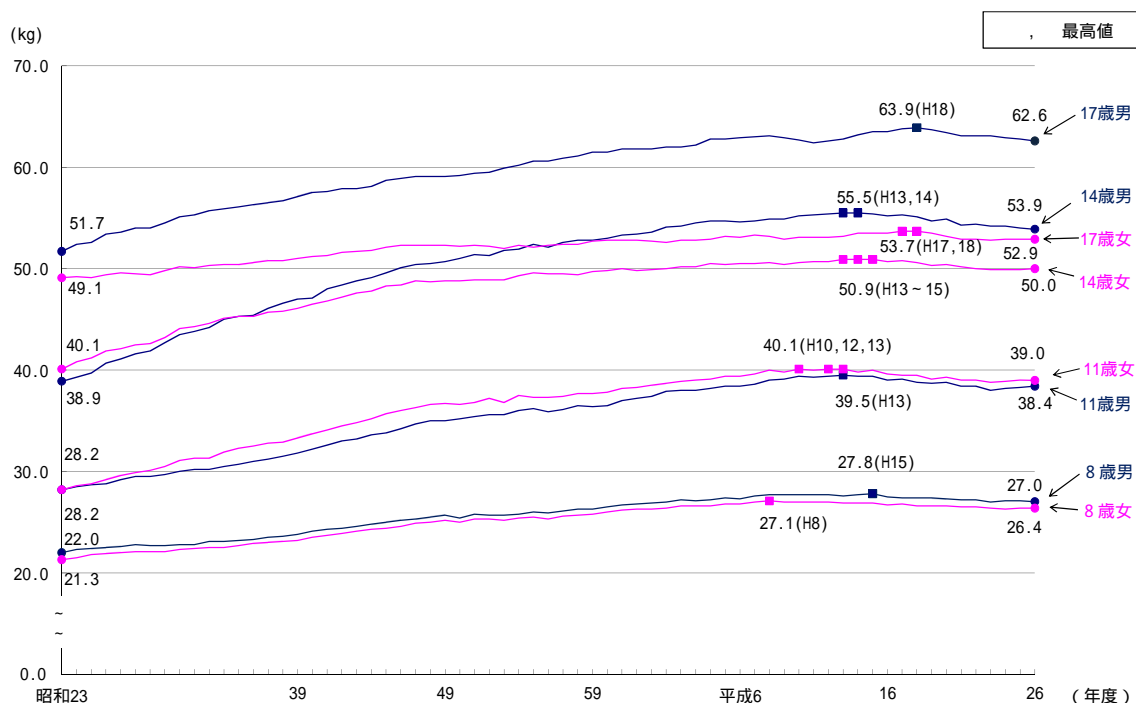
2. 体重（平均値）

(kg)

区 分	男 子			女 子		
	平成26年度 A	平成25年度 B	前年度差 A - B	平成26年度 A	平成25年度 B	前年度差 A - B
5歳（幼稚園）	18.9	18.9	0.0	18.5	18.6	0.1
6歳（小学校1年生）	21.3	21.3	0.0	20.8	20.9	0.1
7歳（小学校2年生）	24.0	23.9	0.1	23.4	23.5	0.1
8歳（小学校3年生）	27.0	27.1	0.1	26.4	26.4	0.0
9歳（小学校4年生）	30.4	30.4	0.0	29.8	30.0	0.2
10歳（小学校5年生）	34.0	34.3	0.3	34.0	34.0	0.0
11歳（小学校6年生）	38.4	38.3	0.1	39.0	39.0	0.0
12歳（中学校1年生）	44.0	43.9	0.1	43.6	43.7	0.1
13歳（中学校2年生）	48.8	48.8	0.0	47.2	47.1	0.1
14歳（中学校3年生）	53.9	54.0	0.1	50.0	49.9	0.1
15歳（高校1年生）	58.9	58.9	0.0	51.4	51.4	0.0
16歳（高校2年生）	60.7	61.0	0.3	52.4	52.5	0.1
17歳（高校3年生）	62.6	62.8	0.2	52.9	52.9	0.0

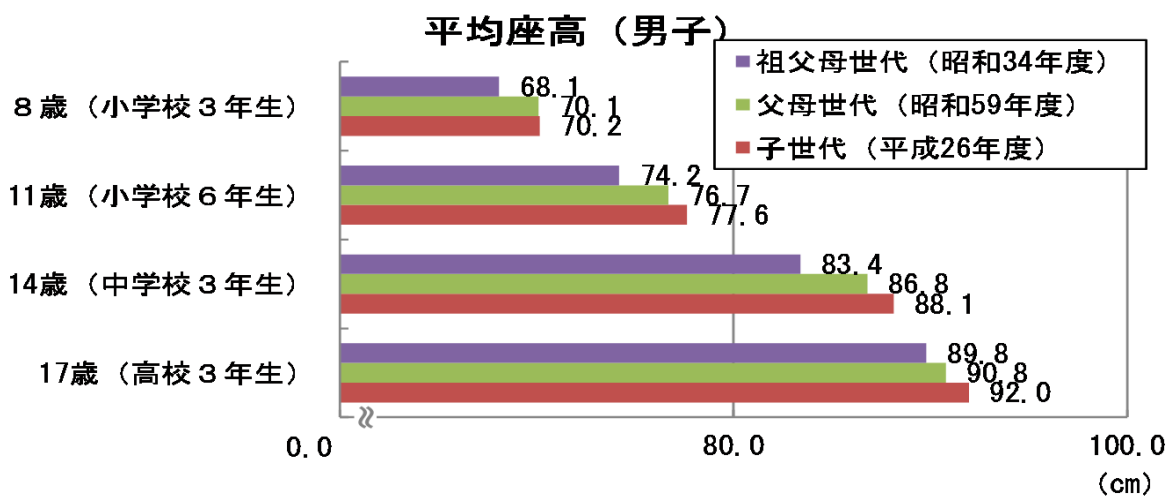
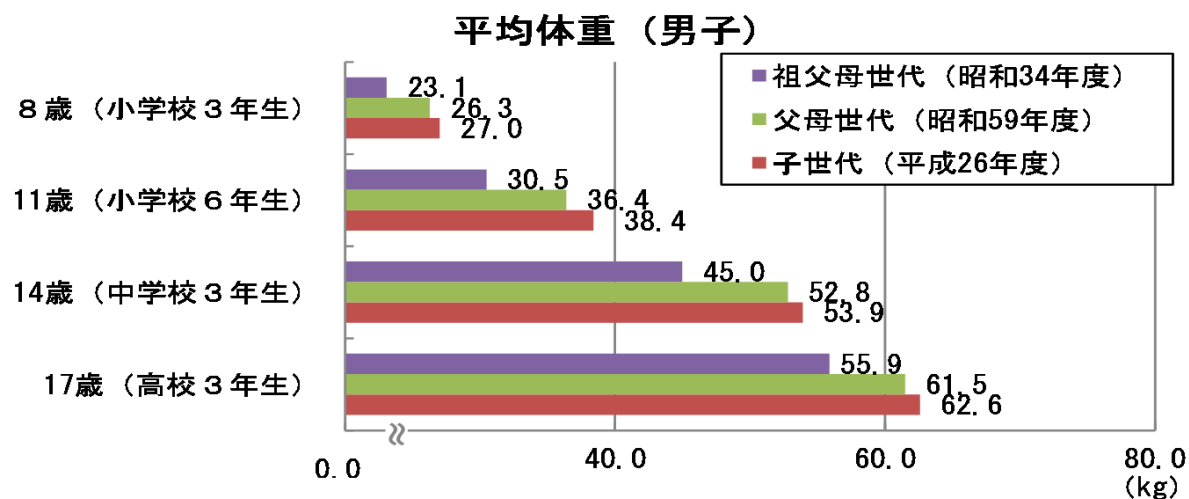
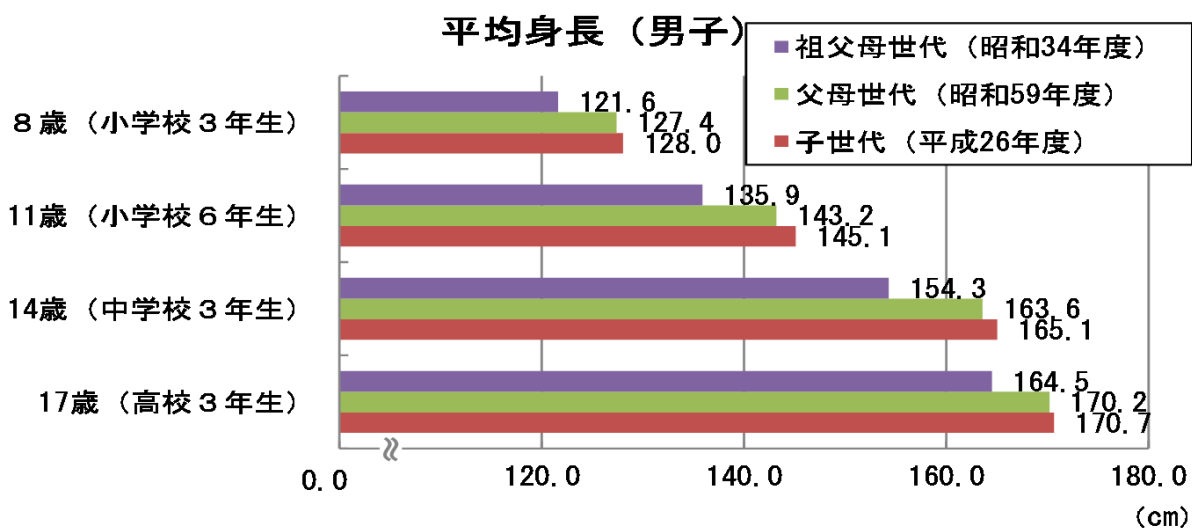
体重の平均値の推移

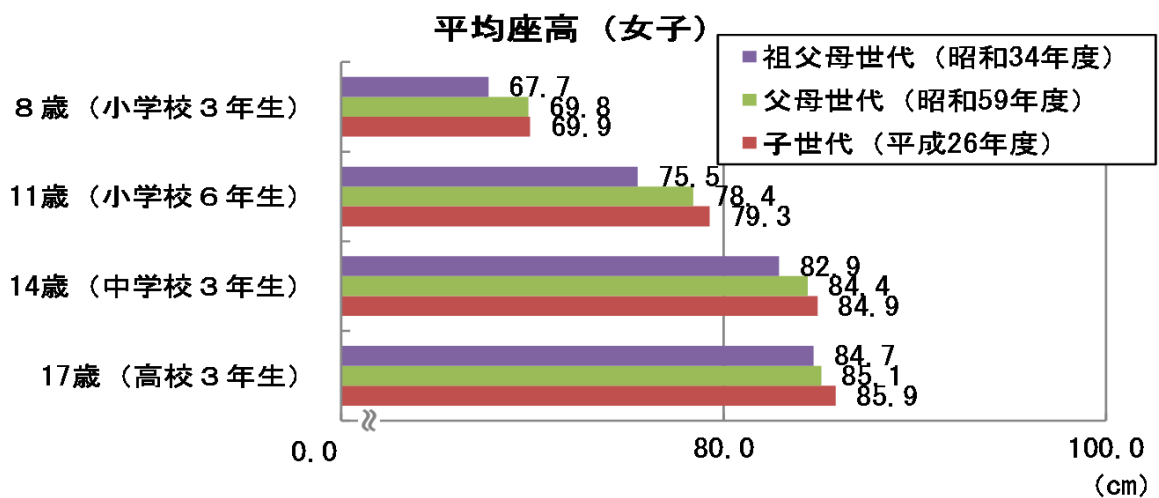
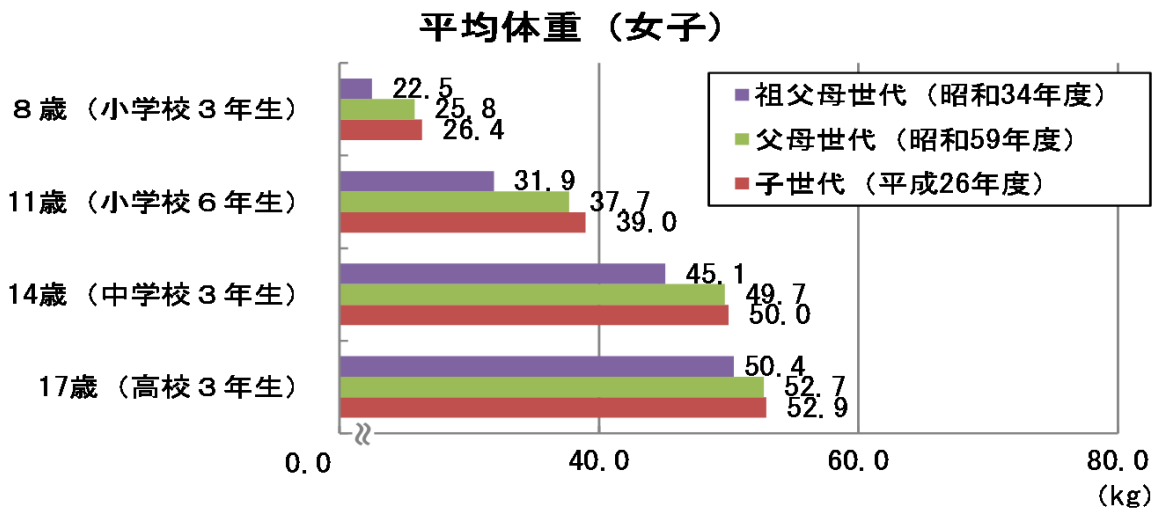
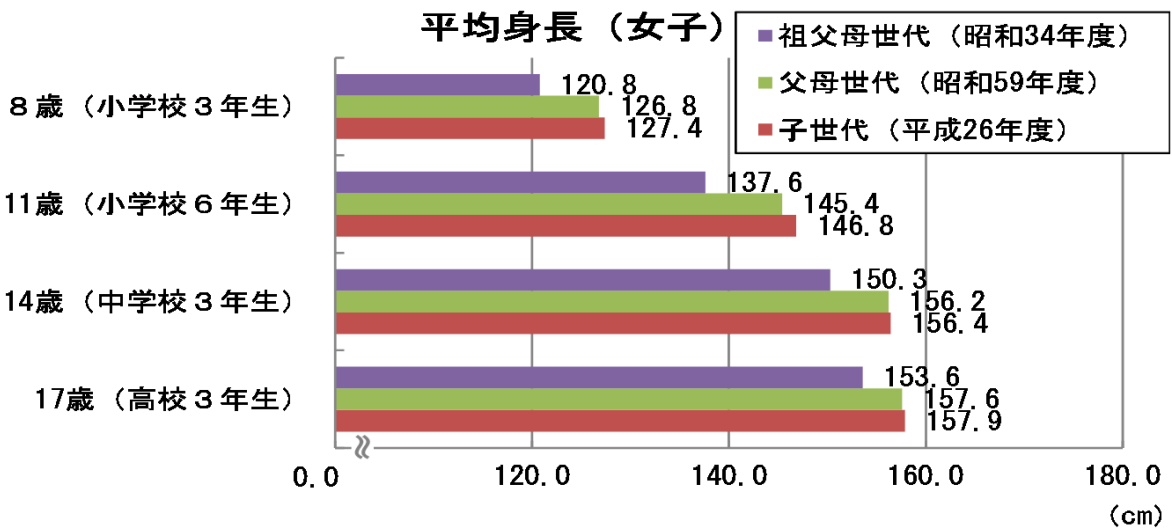
平成10年度～18年度あたりをピークに，その後減少傾向がうかがえる。



3. 発育状態の世代間比較（身長・体重・座高）

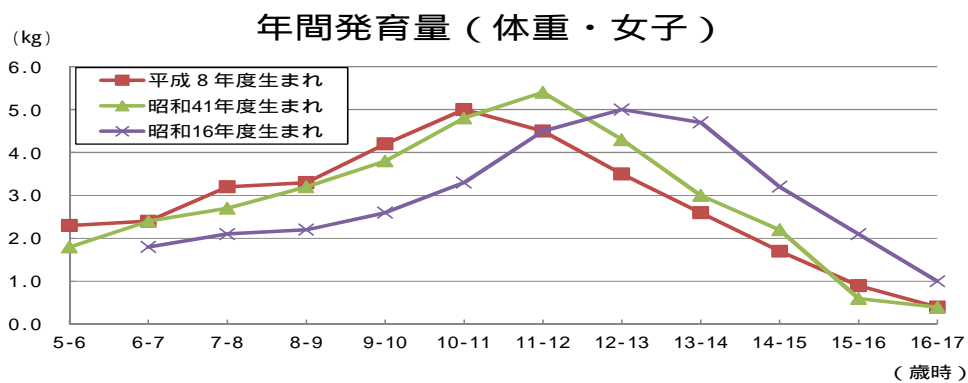
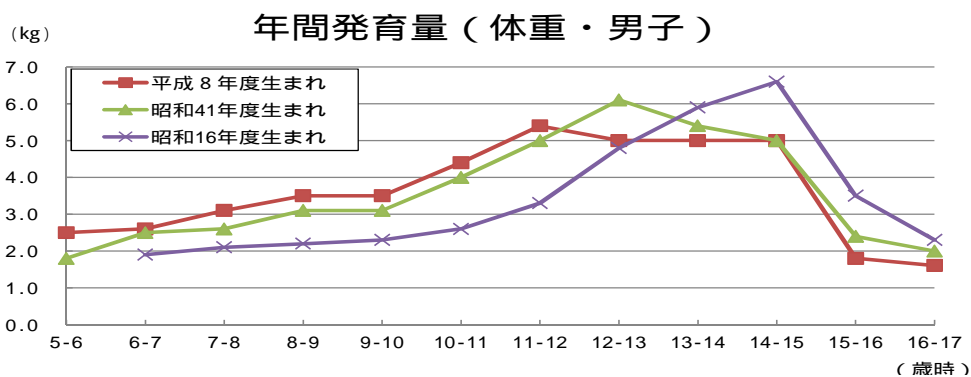
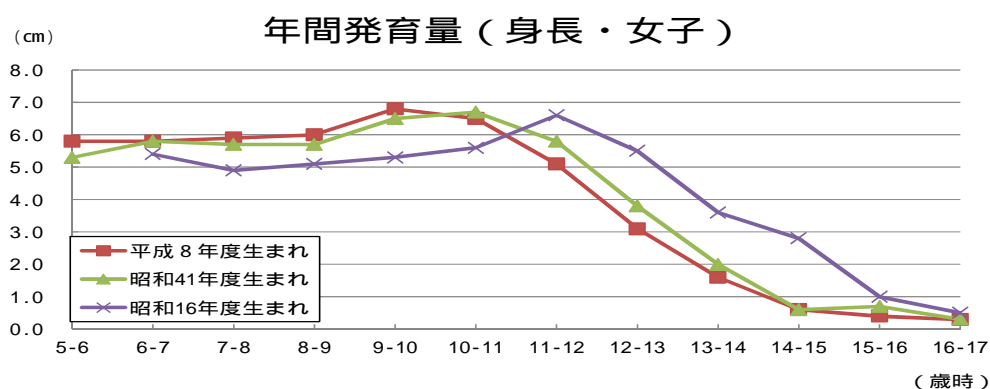
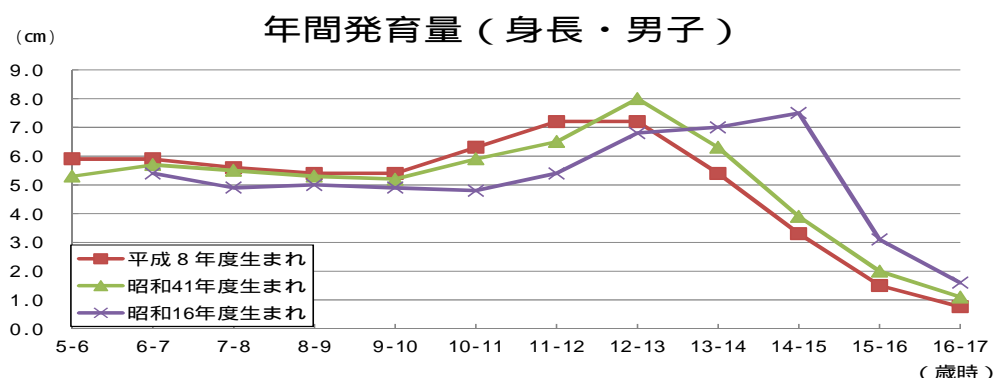
子世代，父母世代（30年前），祖父母世代（55年前）を比較すると，身長・体重とも各世代間で増加していることがわかる。全体的には祖父母世代から父母世代が大きく増加している。父母世代と子世代の間でも増加しているが，祖父母世代と父母世代の間に比べると増加の割合は小さい。





4. 年間発育量の世代間比較（身長・体重）

男子、女子共に身長、体重のいずれも、現代に近い世代ほど早期に増加している。



注1：昭和16年度生まれについては、戦争のためデータが一部欠損している。

注2：「平成8年度生まれ」は現在17歳（高校3年生）、「昭和41年度生まれ」は父母世代の17歳、「昭和16年度生まれ」は祖父母世代の17歳の数値。

5. 肥満傾向児の出現率の推移

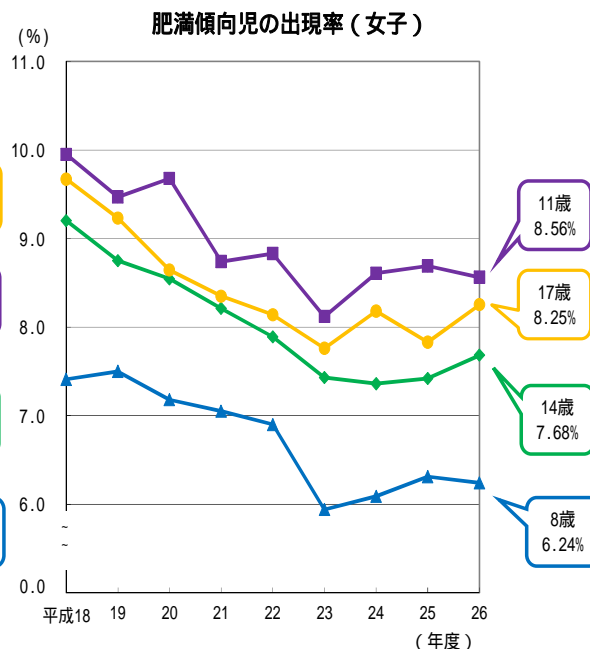
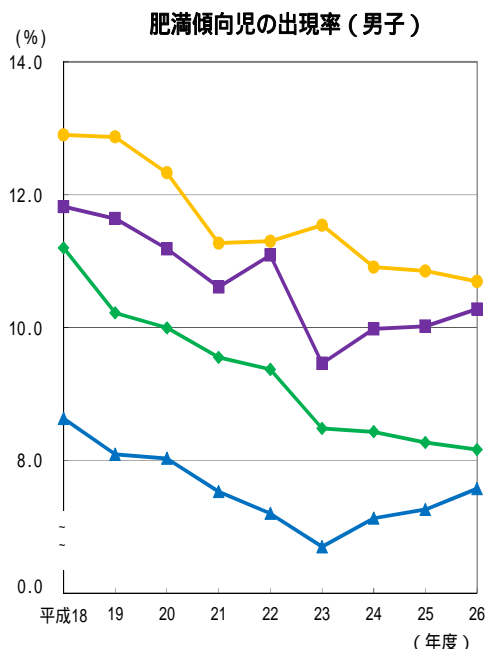
平成18年度以降減少傾向にあったが、23年度以降はほぼ横ばいに推移している。

肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重を求め、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = [\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}] / \text{身長別標準体重 (kg)} \times 100 (\%)$$

例えば、11歳男子の全国平均値10.28%とは、肥満度20%以上の者の割合が男子児童（11歳）全体の10.28%であることを意味している。

区分		幼稚園		小学校						中学校			高等学校	
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男子	平成18年度	2.59	5.70	6.21	8.63	10.81	11.70	11.82	13.26	11.23	11.20	13.76	12.45	12.90
	19年度	2.78	4.79	6.77	8.09	10.23	11.59	11.64	12.41	10.84	10.22	13.47	12.92	12.87
	20年度	2.87	4.52	6.19	8.03	10.36	11.32	11.18	11.97	10.28	9.99	13.45	11.85	12.33
	21年度	2.75	4.55	5.60	7.53	9.57	10.76	10.61	11.49	9.71	9.55	12.11	11.20	11.27
	22年度	2.80	4.46	5.62	7.20	9.06	10.37	11.09	10.99	9.41	9.37	12.40	11.57	11.30
	23年度	2.14	3.75	5.18	6.70	8.39	9.42	9.46	10.25	9.02	8.48	11.99	11.16	11.54
	24年度	2.41	4.09	5.58	7.13	9.24	9.86	9.98	10.67	8.96	8.43	11.41	10.25	10.91
	25年度	2.38	4.18	5.47	7.26	8.90	10.90	10.02	10.65	8.97	8.27	11.05	10.46	10.85
26年度	2.55	4.34	5.45	7.57	8.89	9.72	10.28	10.72	8.94	8.16	11.42	10.16	10.69	
女子	平成18年度	2.97	4.98	5.85	7.41	8.55	8.62	9.95	10.13	9.46	9.20	10.15	9.46	9.67
	19年度	2.96	4.70	5.71	7.50	8.16	8.92	9.47	9.67	8.99	8.75	9.87	9.18	9.23
	20年度	2.78	4.57	5.88	7.18	7.91	9.42	9.68	9.84	9.05	8.54	9.56	8.40	8.64
	21年度	2.65	4.17	5.40	7.05	7.58	8.26	8.74	9.04	8.13	8.21	8.47	8.27	8.35
	22年度	2.83	4.23	5.13	6.90	7.51	8.13	8.83	8.92	7.96	7.89	8.59	7.81	8.14
	23年度	2.40	3.93	4.86	5.94	6.82	7.71	8.12	8.51	7.49	7.43	8.26	7.33	7.76
	24年度	2.36	4.37	5.23	6.09	7.23	7.73	8.61	8.64	7.90	7.36	8.51	7.74	8.18
	25年度	2.49	3.91	5.38	6.31	7.58	7.96	8.69	8.54	7.83	7.42	8.08	7.66	7.83
26年度	2.69	4.15	5.41	6.24	7.36	8.40	8.56	7.97	7.89	7.68	8.35	7.44	8.25	



注1：「身長別標準体重」については、別添速報資料P.24を参照。
 注2：平成18年度から肥満傾向児の算出方法を変更。

(参考) 肥満傾向児の出現率

男子、女子共に肥満傾向児の出現率は低下している。
東北地方においては、従来より肥満傾向児の出現率は相対的に高い傾向がみられる。

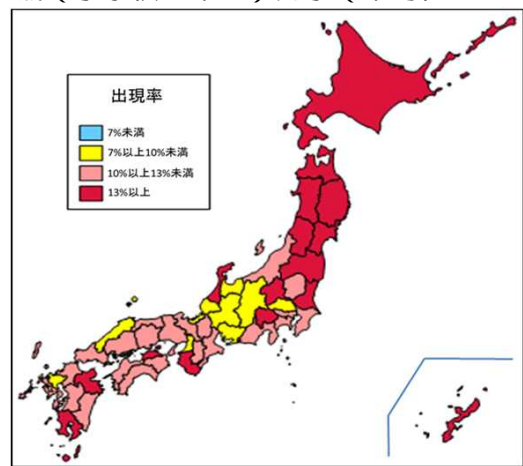
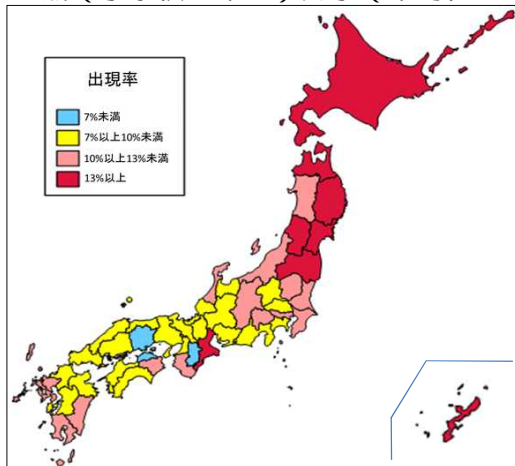
男子は女子に比べ、肥満傾向児の出現率が相対的に高い傾向がみられる。

平成26年度 (男子)

平成18年度 (男子)
(肥満度の算出方法変更後初年度)

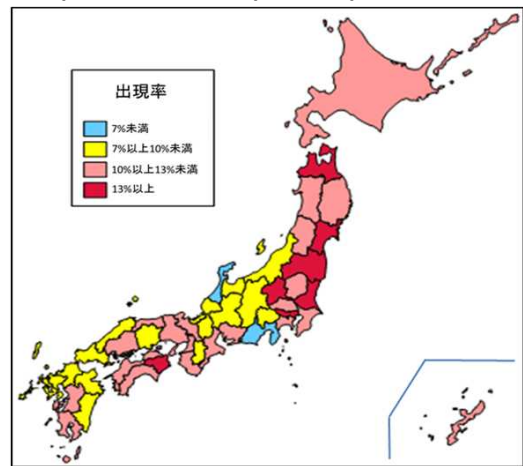
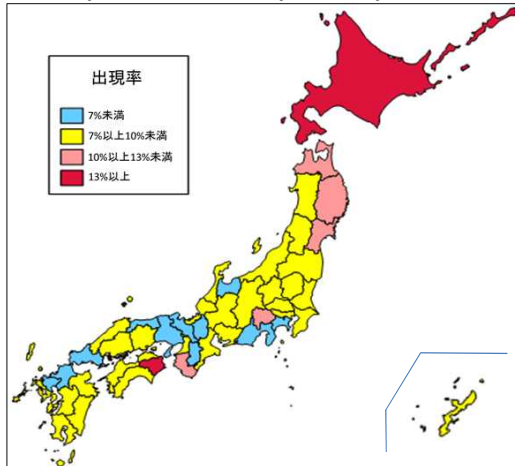
11歳 (小学校6年生) 男子 (平均値10.28%)

11歳 (小学校6年生) 男子 (平均値11.82%)



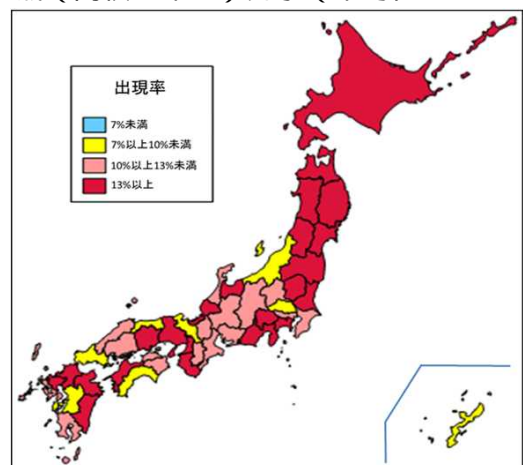
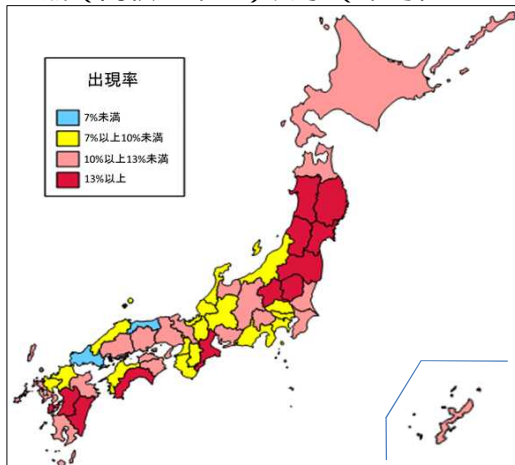
14歳 (中学校3年生) 男子 (平均値8.16%)

14歳 (中学校3年生) 男子 (平均値11.20%)



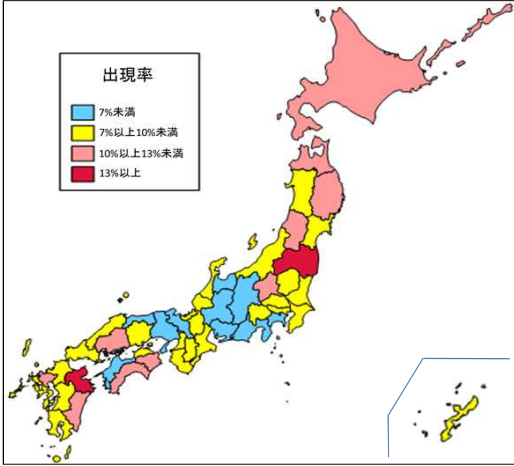
17歳 (高校3年生) 男子 (平均値10.69%)

17歳 (高校3年生) 男子 (平均値12.90%)



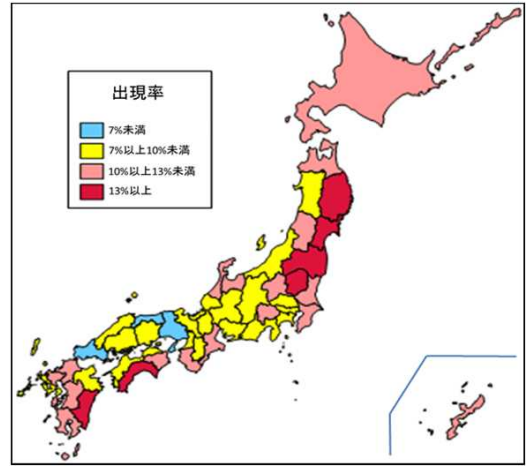
平成26年度（女子）

11歳（小学校6年生）女子（平均値8.56%）

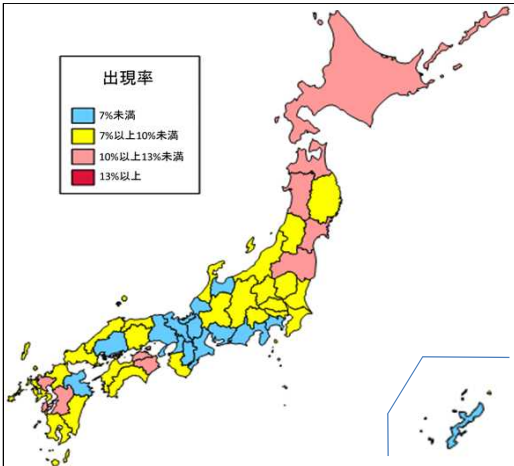


平成18年度（女子）
（肥満度の算出方法変更後初年度）

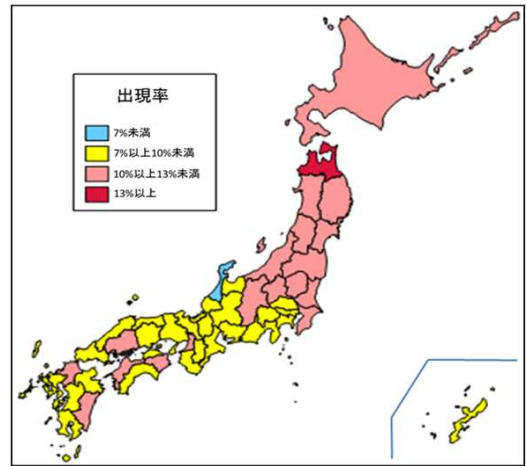
11歳（小学校6年生）女子（平均値9.95%）



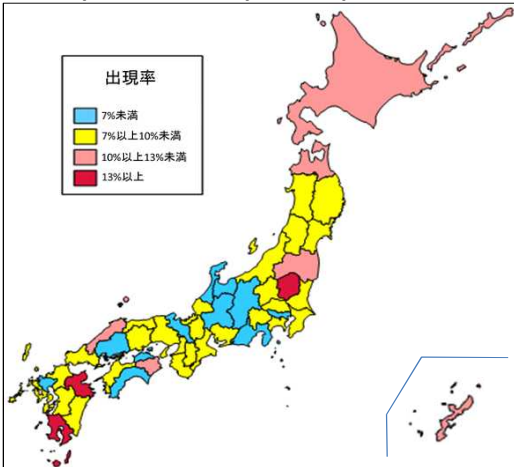
14歳（中学校3年生）女子（平均値7.68%）



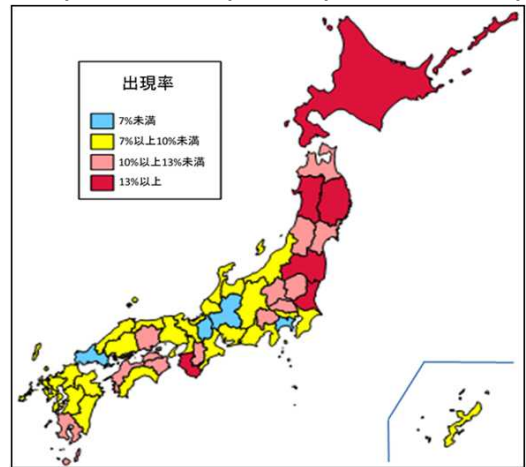
14歳（中学校3年生）女子（平均値9.20%）



17歳（高校3年生）女子（平均値8.25%）



17歳（高校3年生）女子（平均値9.67%）



6. 主な疾病・異常等の推移

近年大きな変化はみられないが、むし歯（う歯）については改善傾向が続いている。また、裸眼視力1.0未満の者の割合は増加傾向にある。

アトピー性皮膚炎は幼稚園で過去最低、寄生虫卵保有者は小学校で過去最低、耳疾患は小・中学校で過去最高となっている。

総括表

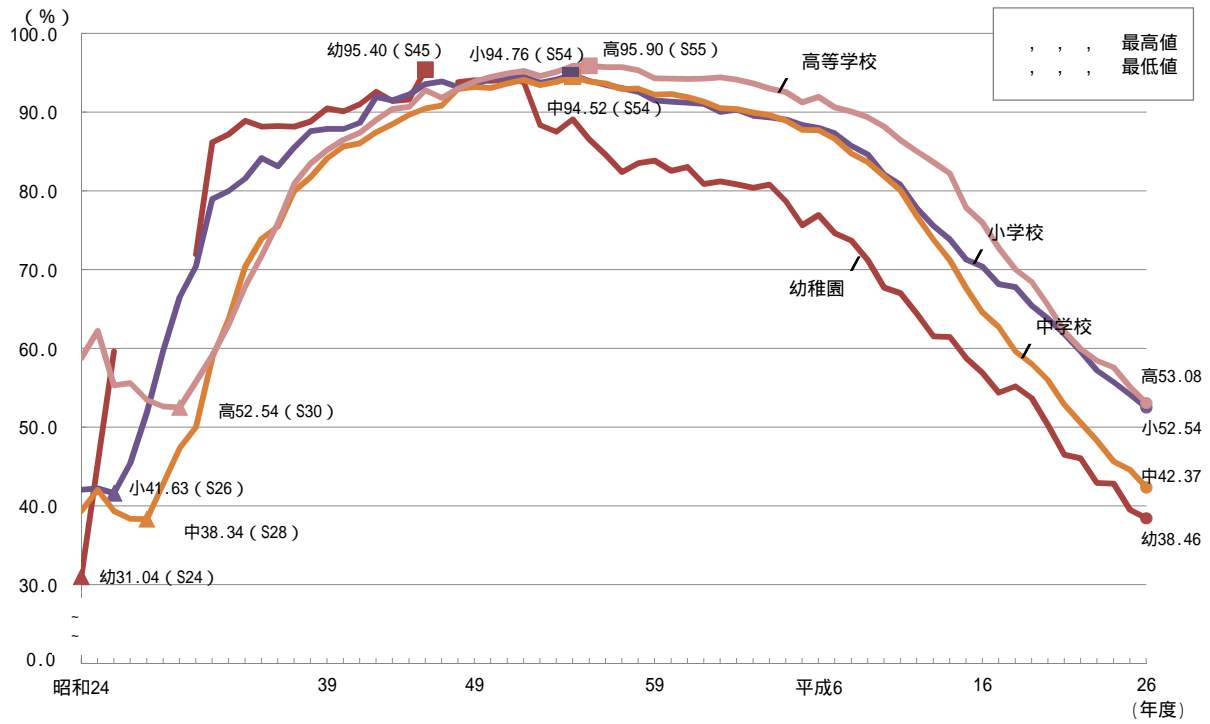
区 分		むし歯 (う歯)	アトピー性皮膚炎	ぜん息	裸眼視力 1.0未満の者	寄生虫卵保有者	心電図異常	蛋白検出の者	耳疾患	鼻・副鼻腔疾患	口腔咽頭疾患・異常	(%)
幼稚園	平成21年度	46.50	3.11	2.15	24.87	0.15	...	0.62	2.91	3.98	1.96	
	22	46.07	3.28	2.74	26.43	0.09	...	1.01	3.34	3.39	1.86	
	23	42.95	2.87	2.79	25.48	0.12	...	0.76	2.54	4.37	2.38	
	24	42.86	2.88	2.33	27.52	0.07	...	0.58	2.60	3.50	1.46	
	25	39.51	2.39	2.13	24.53	0.12	...	0.89	2.58	3.44	1.37	
	26	38.46	2.37	1.85	26.53	0.08	...	0.74	2.27	3.13	1.74	
小学校	平成21年度	61.79	3.31	3.99	29.71	0.30	2.51	0.81	5.47	12.57	1.63	
	22	59.63	3.38	4.19	29.91	0.27	2.48	0.75	5.43	11.66	1.52	
	23	57.20	3.30	4.34	29.91	0.22	2.51	0.75	5.52	12.50	1.51	
	24	55.76	3.25	4.22	30.68	0.20	2.30	0.75	5.39	12.19	1.27	
	25	54.14	3.06	4.15	30.52	0.16	2.62	0.74	5.43	12.07	1.32	
	26	52.54	3.22	3.88	30.16	0.13	2.34	0.84	5.70	12.31	1.50	
中学校	平成21年度	52.88	2.58	2.96	52.54	...	3.28	2.46	3.35	10.83	0.81	
	22	50.60	2.56	3.02	52.73	...	3.36	2.61	3.56	10.67	0.82	
	23	48.31	2.42	2.83	51.59	...	3.36	2.60	3.28	11.75	0.80	
	24	45.67	2.47	2.95	54.38	...	3.32	2.50	3.62	11.39	0.70	
	25	44.59	2.48	3.22	52.79	...	3.44	2.45	3.89	11.11	0.67	
	26	42.37	2.52	3.03	53.04	...	3.33	3.00	4.00	11.21	0.67	
高等学校	平成21年度	62.18	2.43	1.88	59.37	...	3.33	2.88	2.01	9.61	0.68	
	22	59.95	2.23	2.08	55.64	...	3.16	2.84	1.61	8.45	0.58	
	23	58.46	2.06	1.94	60.93	...	3.13	2.92	1.64	8.81	0.58	
	24	57.60	2.07	1.91	64.47	...	3.02	2.67	1.88	8.63	0.46	
	25	55.12	2.14	1.90	65.84	...	3.19	2.68	2.15	8.74	0.47	
	26	53.08	2.14	1.93	62.89	...	3.25	3.14	2.05	8.72	0.54	

注1:「寄生虫卵保有者」については、5歳から8歳のみ調査を実施している。

注2:「心電図異常」については、6歳、12歳及び15歳のみ調査を実施している。

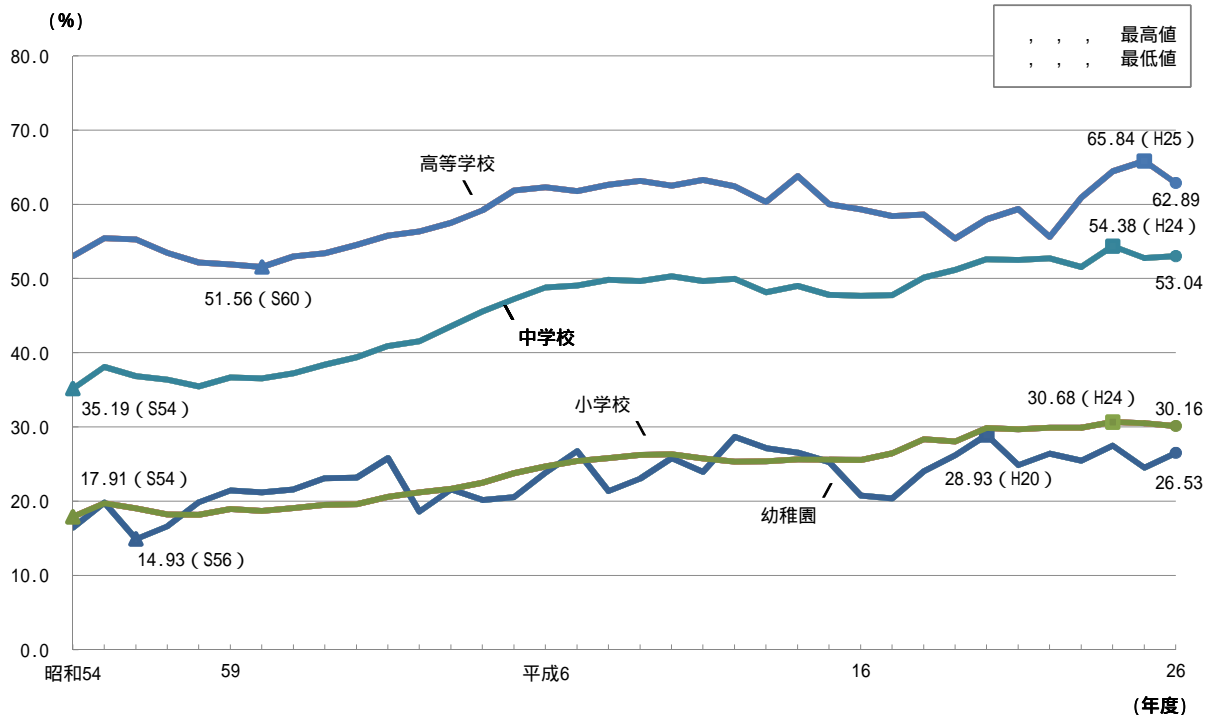
:過去最高
 :過去最低

「むし歯（う歯）」の者の割合の推移



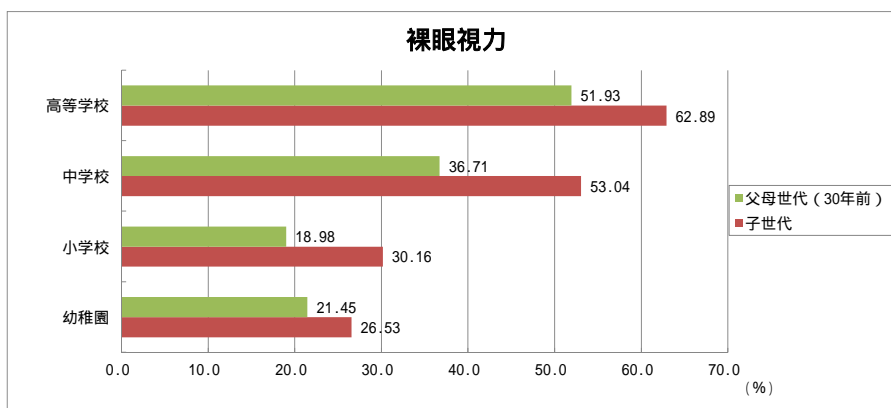
注：むし歯（幼稚園）については、昭和27から30年度及び昭和46年度は調査していない。

「裸眼視力1.0未満の者」の割合の推移

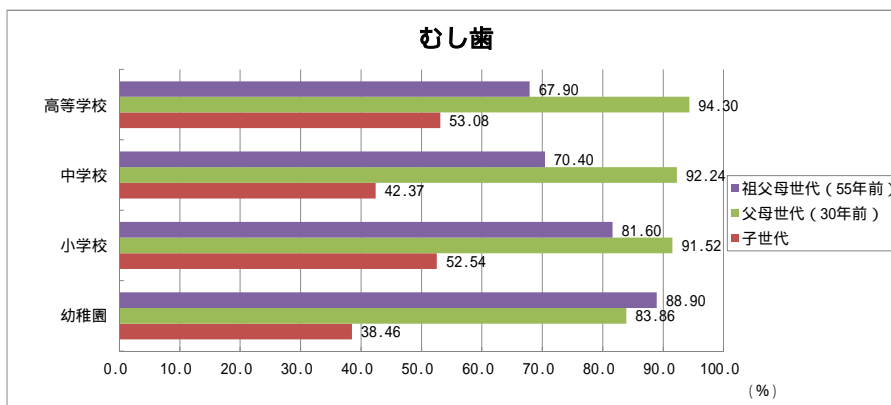


7. 主な疾病・異常等の世代間比較

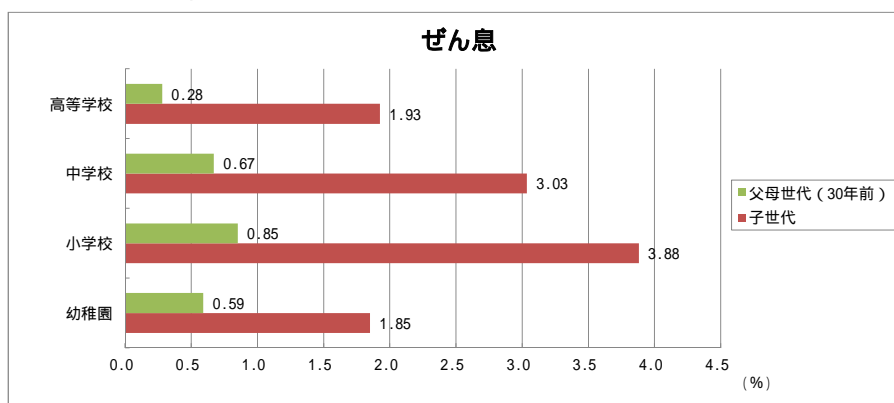
裸眼視力1.0未満の者は、父母世代に比べ子世代では多くなっている。



むし歯のある者は、祖父母世代に比べ父母世代では多くなっていたが、父母世代に比べ子世代では減少している。



ぜん息のある者は、父母世代に比べ子世代では多くなっている。



寄生虫卵を保有する者（幼稚園児，小学生）は、祖父母世代に比べ父母世代では激減し、子世代ではさらに減少している。

